第 2 次浜田市総合振興計画後期基本計画の進捗管理方法について

1 第 2 次浜田市総合振興計画

第 2 次浜田市総合振興計画では、平成 28（2018）年度から 10 年間の本市の目指すべきまちの姿を明らかにするとともに、その実現のための施策の方針を示しています。この計画は、基本構想と基本計画で構成されています。

基本構想は、我が国を取り巻く時代背景や本市における課題、目標年次（令和 7（2026）年度）における将来像と基本理念、今後の人口展望、部門別施策の基本方針、土地利用構想を示し、10 年間のまちづくりの方向性を明らかにしたものです。

基本計画は、基本構想に掲げた将来像の実現にむけた具体的な施策を体系的に示しており、平成 28（2018）年度から令和 3（2021）年度までの 6 年間の前期とし、令和 4（2022）年度から 4 年間の後期計画を令和 3（2021）年度に策定しました。

また、本来であれば、令和 7（2025）年度をもって計画期間が終了となりますが、昨年度開催の総合振興計画等進捗管理会議及び浜田市総合振興計画審議会において、次のとおり計画期間の延長について承認をいただきました。

(1) 現計画の計画期間の延長

計画の最終年度を「令和 7（2025）年度」から「令和 8（2026）年度」へ変更する。

(2) 計画期間延長の理由

令和 7 年 10 月に市長選挙を控えている状況にあり、次期市長の方針を踏まえた総合振興計画を策定するため。また、同じく改選となる市議会に対しても十分な説明を行う必要があるため。

(3) 次期計画の計画期間

令和 9（2027）年度を始期とし、計画期間は 8 年（前期基本計画 4 年、後期基本計画 4 年）とする。

(4) 令和 8（2026）年度の目標数値の修正

計画最終年度を令和 8（2026）年度とすることに伴い、目標年次の数値を令和 8（2026）年度における数値へ変更（令和 8（2026）年度の目標数値を追加）する。

(5) 総合戦略等の取扱

現総合振興計画後期基本計画と一体化した浜田市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び浜田市定住自立圏共生ビジョンについても、同様の取扱いを行う。

2 基本指標

第2次浜田市総合振興計画後期基本計画では、3つの基本指標を掲げています。

3 部門別施策の基本方針について

第2次浜田市総合振興計画の部門別施策の基本方針の施策の体系に示す主要施策ごとに、令和6年度（令和7年3月末現在）における施策の進捗状況（取組と成果）と今後の展開、代表的な目標指標の達成状況を整理します。

4 目標指標の評価基準について

基本指標及び部門別施策の主要施策の代表的な目標指標の評価基準は、計画最終年度を令和8（2026）年度とすることに伴い、令和8（2026）年度の目標数値を追加しました。

よって、目標年度である令和8（2026）年度に向けた当該年度の達成状況を以下の考えにより示します。

（1）達成率計算方法（目標に対する当該年度の達成率）

ア. 基本的な考え方

令和8（2026）年度目標値に向けた単年度の目標値を設定し、各年度の目標値に対する達成率（実績値/目標値）を算出します。「維持」や「抑制」など達成率がマイナス値等となりうる目標値は、達成率によらない評価方法とします。

また、令和8（2026）年度目標値までの達成状況については、グラフ表示により分かりやすい表記とします。

イ. 算出方法

① 増加目標 144項目

計算式： 実績値/目標値（当該年度）

〈目標例〉

Ⅲ 夢を持ち郷土を愛する人を育むまち【教育文化部門】

5 歴史・文化の伝承と創造 ～将来へ芸術・文化財を守り伝える～

1 芸術文化の振興

目 標	現状値 (令和2年度)	目標値 (令和8年度)	目標・指標の説明
石央文化ホール利用者数の増加	年間 11,473人	193,500人	石央文化ホールの年間利用者数の令和4～8年度の累計

② 減少目標 4項目

計算式： 目標値(当該年度)／実績値

〈目標例〉

IV 自然環境を守り活かすまち【環境部門】

2 循環型社会の構築 ～経済と環境が好循環するグリーン社会に向けて～

1 4つの「R」によるごみの減量化の推進

目 標	現状値 (令和2年度)	目標値 (令和8年度)	目標・指標の説明
総ごみ排出量の減少	19,370 t	17,140 t	年間の総ごみ排出量

③ 維持目標 7項目

達成率を算出せず、「－」で表示

〈目標例〉

I 活力ある産業を育て雇用をつくるまち【産業経済部門】

1 水産業の振興 ～水産浜田を未来へつなぐ～

1 地元漁船の存続

目 標	現状値 (令和2年度)	目標値 (令和8年度)	目標・指標の説明
沖合底びき網漁船団の維持	4ヶ統	4ヶ統	市内の漁港を根拠地として沖合底びき網漁業を行う船団数

④ 増加の抑制、減少の抑制 4項目

達成率を算出せず、「－」で表示

〈目標例〉

II 健康でいきいきと暮らせるまち【健康福祉部門】

4 高齢者福祉の充実 ～総合的な相談・支援体制の構築を目指して～

2 介護予防と生活支援体制の充実

目 標	現状値 (令和2年度)	目標値 (令和8年度)	目標・指標の説明
要介護認定率増加の抑制(要介護者のみ)	18.4%	19.3%	65歳以上の高齢者のうち、要介護1から5までに該当する認定者の割合

(2) 進捗評価の基準

評価は「A」「B」「C」の3段階評価とし、各目標値に対する評価基準は下記表のとおりとします。

評価	目標値ごとの評価方法					
	増加目標 (144 項目)	減少目標 (4 項目)	維持目標 (7 項目)		増加の抑制または減少 の抑制目標 (4 項目)	
A 順調	100%以上	100%以上	当該年度目標値を維持または 向上		当該年度目標の達成	
B 一定の進捗 がある	99%~50%	99%~50%	当該年度目標 値より後退	前年より向上	目標 未達成	前年度より向 上
C 遅れている	49%以下	49%以下		前年と同値ま たは後退		前年と同値ま たは後退